

ちば通研だより No.510

千葉県手話通訳問題研究会 (発行責任者) 米田 市子 (編集者) 渡辺 正夫
住所: 〒260-0022 千葉市中央区神明町 204-12 千葉聴覚障害者センター内
FAX: 043-247-1201 E-Mail: syuwa@nifty.com URL: <http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

9月23日は“手話の日”と “手話言語の国際デー”です

皆さんご存知のとおり全日本ろうあ連盟が「手話言語法(仮称)制定」推進事業を立ち上げてから15年という長い時間がかかりましたが「手話に関する施策の推進に関する法律」が6月18日に可決成立し、6月25日に公布されました。その法律の第14条第2項に「手話の日は、9月23日とする」と明確に記されています。今回はその法律が施行されて初めての日を迎えることとなります。

この日は「手話言語の国際デー」でもあります。2017年12月19日に国連総会で決議され、その決議文では、手話言語が音声言語と対等であることを認め、ろう者の人権が完全に保障されるよう国連加盟国が社会全体で手話言語についての意識を高める手段を講じることを促進することとされています。ちなみに9月23日は1951年に世界ろう連盟(WFD)が設立された日です。

全日本ろうあ連盟としても全国各地で初めて迎える「手話の日」と「手話言語の国際デー」を記念するイベントがこれまでよりも増えていく事を期待しています。

千葉県では同日新船橋駅近くのイオンモール船橋光の広場でキャラバンイベントを開催する予定です。また、今回もブルーライトアップを県庁初め県内の多くのところで実施する予定です。ぜひ、自分の住んでいる自治体でも取り組んでもらえるよう要望していきましょう。

そして、これを機にデフリンピックを各地でどんどん盛り上げていきましょう。

8月26日時点でのちば通研の会員数は316人
(読者会員会員数は12人)
2025年度の目標数は350人です
数は力! みんなで会員を増やしましょう~



しゅわりん

サマーフォーラム in きょうと 報告

8月8日から10日まで、京都テルサにて第58回全国手話通訳問題研究集会 サマーフォーラム in きょうとが開催され、千葉県から30人（うち役員6人）が参加しました。全国からは1,300人を超える参加があり4つの講座、6つの分科会で多くのことを学びました。

長崎原爆の日である9日は原爆被害者のご冥福をお祈りするとともに、恒久平和への誓いを込め参加者一同午前11時2分に黙祷を捧げました。

また、販売ブースでは、三日間、海苔佃煮 レジンキーホルダー 落花生 シュワリンバッチ 後援会ネックストラップを販売。千葉の特産落花生や海苔の佃煮は2日目には完売、シュワリンバッチも「かわいい!」と好評でした。役員以外のちば通研会員の皆さんも販売に積極的に加わってくださり、ちば支部のチームワークを実感しました。

来年は静岡県での開催です。今回参加した人も参加できなかった人も、ぜひ一緒に学びましょう! そして日常を離れ、旅ならではのドキドキ! わくわく! 思い出をつくりませんか?

(副会長 石鍋 久子)



【販売】

サマーフォーラム in きょうとに参加して

福島大会から11年ぶりに参加しました。

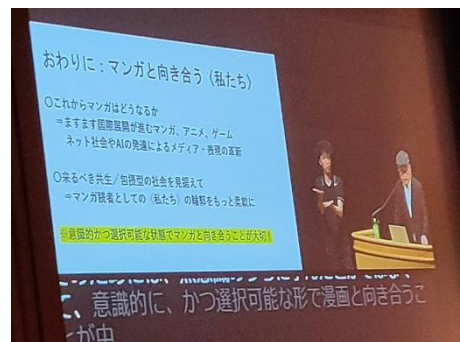
記念講演では、参加者を引き込ませる話術で、笑いあり、「へえ〜なるほど」と感心しました。漫画が社会に影響を与えていると気づかされました。

C講座の人権・福祉では、問題提起を与えてくれ、自分には何ができるのだろうと考えさせられました。

講座終了後は、仲間に誘われ、大先輩や他県の方々と楽しく交流しました。

勿論、ミニ京都観光も楽しみました。

(わかしお班 鷺澤 洋子)



【記念講演】

C講座では、文化間の障壁や様々な差別を感じながらも奮闘されている方々のお話を聞きました。とても興味深く、手話通訳に通ずる内容でした。心に残っていることは『日本語は共通認識があるとどんどん情報を抜く』という言葉です。情報量に差がある同士の会話には補償(言語の言い換え、説明の追加・具体化など)が必要であり、通訳のみならず日常生活でも相手への配慮が大切だと思いました。

記念講演始めとても感動する3日間でした。また、参加したいと思いました。

実行委員会の皆さん、ありがとうございました。

(船橋班 野崎 みなみ)



【C講座】

関東通研支部代表者連絡会議報告

7月27日(日)、10時から12時までオンラインにて、関東通研代表者連絡会議が開催されました。出席者は本部理事3人、支部代表者19人でした。ちば通研からは米田会長と阿部が出席しました。

主に協議したのは、今後行われる代議員会ブロック別会議のあとの学習会企画ととちぎN-Action担当者が中心になって企画している関東N-Action世代有志共同企画～関東N-Actionのつどい(仮)～についてでした。特にこのN-Actionのつどいにたくさんの方が参加できる企画になるとよいなあと感じました。

また、防災についてのテーマでの企画が2本あります。1つは来年1月17日(土)、18日(日)に開催される関東ろう活動者研修会ともう1つは関東ろう連と関東通研合同で2月14日(土)に開催される防災学習会です。私は、関東通研から災害救援中央本部委員として指名されましたので、本部役員の皆様と連携を取りながら、行事がスムーズに開催できるように進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。

(副会長 阿部 恵子)

関東通研組織担当者会議報告

2025年7月27日(日)13:00～15:00に関東通研の組織担当者会議がZoomミーティングルームで行われました。ちば通研からは、野島組織部長とN-Actionちば代表の上利、本部理事として渡辺正夫さんが出席しました。

事前アンケートを基に、会員拡大の取り組みについて報告をしました。委員長行脚で各地域を回る、入会后2～3年目の会員向けの学習会、養成講座での周知案内…など各地でさまざまな取り組みが行われていました。

また、目標会員数について、予算立てと実際の収入との乖離が課題となっている支部もあり、関東通研の目標会員数についても課題が残ります。次世代会員の活動について、N-Actionなどの代表者より、ろう者を交えた交流企画などの報告をしました。

休憩を挟んで後半は、役員のなり手がいないという共通の課題について、どのように声掛けをしているかを共有しました。役員に誘われた立場では「わからないけれどとりあえずやってみよう」と引き受けたという声、誘った立場では「〇〇さんも誘ったから一緒にどう？」と一人だと心細いので知り合いと一緒に役員になることを提案するという声があげられました。

地域性はあれど共通する部分も多く、今後の活動に生かしていきたいと思えました。

(組織部 上利 理紗)

「倉知延章氏から通訳と健康について学ぶ」講演会(8月2日)に参加して

手話通訳者はこうあるべきという話ではなく、手話通訳者のつらさやストレスについて解説してくださったので、なぜか私たちの理解者だと感じて、ホッとしました。

「手話通訳者はみんな献身的で優しい性格の人が多いため、悩みには共通点がある」という話も納得でした。悩みに対して、自己分析するよい機会になりました。

(千葉市班 橋本 文子)

「福祉の現場を経験して しろうが語る！」 Vol.6

人生の分岐点となった特別支援学校勤務

※私が柏養護学校に赴任した平成16年秋、「柏市民新聞の記者に依頼され書いたコラム記事」を前段に(そのまま)掲載させていただきます。

「ふる里で暮らしたい…」

生まれ育った地域で暮らしたいと言う当然の願いが特別な事情から実現できない人たち「施設から地域へ」のテーマを同じ土俵で論じるのは不謹慎なのですが「学校がない」ただそれだけの理由で私は33年前鹿児島県の山奥から千葉県へ上京してきました。「ふるさととは遠きにありて思うもの そして悲しくうたうもの」都会は住むところにあらずと、永年心の拠り所としてきたふる里にも自分の居場所はないことに気づいたとき。遠距離だけが原因ではない(自分のことを知っている人がもういない)ことが、一層寂しさを募らせます。ちなみに室生犀星はこの詩をみやこではなく「ふる里」で詠んだと言われています。

「生活リズム」障害児者の地域生活支援に関わるものがよく使う言葉です。それは規則正しい食生活や睡眠入浴等を論じるまでは良いのですが、その先のプラスαつまりその人が何を楽しいと思いついて何を快適と感じるかは、当然ながら百人百様です。

地域での本人の自己決定権や選択権は社会資源の絶対数不足の前では残念ながら看板倒れ状態にあります。家族がその一員を一度切り離れた形で定着してしまった生活とその周辺地域の人々の生活。そして他方施設と言うある意味狭い空間と単調なパターンの中で暮らさざるを得なかった人たちが新たな生活リズムを地域でどう築いていけるか。自分を受け入れてくれる人がいるこじんまりとした憩いのスペースを仲間たちとの共同生活の中に実現しようとする新たな取組が今「みやこ」の各地で始まっています。

私の場合、都会での自分の居場所を取り戻す第二のふる里作りの活動とも言えます。仲間とは、あるときは家族以上のことを教えてくれる、またある時は世代を超えて人生の喜びを分かち合えるあり難い存在です。来年四月鎌ヶ谷市に開所する知的障害者グループホームを長い目で応援して下さる方を募集しています。

特定非営利活動法人青空の会 代表 黒岩史郎

[以上柏市民新聞掲載]

平成15年3月(特別支援学校への改変期)、私は教育庁への出向辞令を拝命しました。赴任した学校の特色は①聴覚重複障害児が多かった②自閉症又はその傾向ありと診断された児童が多かったことです。学校勤務で私は知的障害特に発達障害の実践と理論を学ぶ機会を豊富に得ることができました。先生方の研修会にも参加させてもらったり。当校にはたまたま教育相談の大変力のある先生がいて(私の妻とも仲間)その方とタッグを組み「子どもと保護者と学校で共通の手立てとなるスクールサインを作ろう」ということになりました。聞こえない児童のお母さん(PTA副会長)の強い要望もあり私は先生方の手話学習会とお母さん方の手話コミュニケーションの学習会を定期開催しました。自閉症の特徴に「視覚優位」があり言葉よりサインの方がストレスも少なく情緒が安定したと保護者から報告がありました。平成18年3月私は県障害福祉課へ転任しましたが翌年度、学校独自の取組みが評価され学校は「博報賞」を、PTAは「厚生労働大臣表彰」を受賞したとの朗報が届きました。

(黒岩史郎) 次回に続く⇒



医療班コーナー

秋の養生

秋の特徴は「乾燥」

空気が乾きやすい季節ですね。秋は、口・鼻・喉・肌・唇や髪の毛まで乾燥しやすくなります。放っておくと、喉に炎症が起きやすかったり、抜け毛が増えたりします。また、便秘や尿の量が減ることもあります。

「食欲の秋」「過ごしやすい気候」

食べ物が美味しく、過ごしやすいので、季節の食べ物で体を中から潤すチャンス！ この時期の養生ポイントは、肺（呼吸器）を潤し、体を温めることです。

★ おすすめ食材 ★

- ・ 根菜類（さつまいも、人参、里芋、れんこん）
⇒ お腹の調子を整え、体を温めます。
- ・きのこ類（しいたけ、まいたけ、エノキなど）
⇒ 腸の健康を助け、免疫力を高めます。
- ・ 果物
（梨）⇒ 肺を潤し、咳をやわらげます。ただし、冷えやすい人は食べ過ぎに注意。
（柿）⇒ 体の余分な熱を冷まし、喉の乾きを和らげます。干し柿はさらに効果的。
- ・ その他（白ごま、ゆり根）⇒ 肺を潤し、全身の乾燥を防ぎます。

○材料を組み合わせるのも楽しいですね。

- 例えば
- ・ さつまいも＋りんご
 - ・ にんじん＋オレンジの皮
 - ・ れんこん＋ナツメ

これらは味の相性も良く、ピューレ状にして冷凍保存もできます。

作り置きしておくともスープやスイーツにもなり、豆乳や牛乳を加えてのばすとリッチなポタージュのできあがり。口にするたび「ホッ」としますよ。

★ 控えたほうが良いもの ★

辛いものや刺激が強い食べ物は、秋の乾燥に大敵です。

例えば、唐辛子、お酒、ネギ、にんにく、こしょう、山椒、シナモンなどは控えめに。

中国の古い医学書『黄帝内経（こうていだいけい）』には、「天人相応（てんじんそうおう）」という考え方があります。これは「人と自然はつながっていて、健康は自然の変化に影響される」という意味です。

秋の穏やかな季節には、ゆったりとした気持ちで過ごすことも大切なのです。

エヌアクション

N-Action

ちばのページ

N-Action ちば 茶話会を開催します！

みんなで手を動かしながら楽しく交流しましょう！
キッズメニューのある会場を予約する予定ですので、
ご家族での参加もお待ちしております。

～昨年度の様子～



日時：9月27日（土）11:30～15:00

場所：千葉駅周辺（お店が決まり次第、申込者に連絡
いたします）

参加費：自分の飲食代

参加対象：会員、一般、どなたでも

〆切：9月20日（土）まで

申込先：s504014_fue@yahoo.co.jp 上利理紗

こちらのQRコードからLINEでも申し込み可能です→



(N-Action ちば代表 上利 理紗)

デフリンピックが11月に開催（その5）

オンデマンド研修動画も、いよいよ手話と国際手話の内容に入りました。ボランティアとして世界各国から訪れる選手や観客との円滑なコミュニケーションは欠かせません。目と目を合わせ、表情を豊かにし、意思を明確に伝えることがとても大切です。

研修動画は、まず活動に必要な心構えから始まり、続いて手話・国際手話へと進みました。その内容に触れる中で、本番では世界中から来日する人々が安心して大会を楽しめるよう、笑顔で丁寧に対応したいという思いが一層強まりました。

研修動画の中で特に印象に残ったのは、日本と海外のジェスチャーの違いについての説明です。日本では人を呼ぶ際、手の甲を上にして招きますが、英語圏ではこれは「追い払う」意味になるため、手のひらを上に向けるのが一般的だそうです。こうした文化や習慣の違いを理解し、相手に合わせた柔軟なコミュニケーション方法を選ぶことの重要性も感じました。たとえ手話や国際手話が流暢でなくても、相手に向き合う姿勢や豊かな表情があれば、気持ちは十分に伝わるはずです。

8月上旬には活動会場と日程の通知が届きました。8月下旬には詳細な活動時間、9月には具体的な役割の通知が予定されています。また、開会式・閉会式の一般観覧募集も始まりました。開会まで100日を切り、ボランティアとしての心構えを日々考えながら、国際手話の単語を一つでも多く覚えることに励んでいます

(船橋班 依田 佐知子)

私のイチオシ

…千葉市班…

飽き性な私がこんなに長い間、手話と関わることになった、私の背中を【一押し】してくれたこと。

- ① 急な引っ越し、知り合いが誰もいない町の公民館の『手話教室』のポスター。オムツをした2人の子を抱えての受講を許可してくれて、ありがとうございました。
- ② 次の引っ越し、新しい町。お隣には聞こえないご夫婦が住んでいて、私を手話サークルに誘ってくれました。わが子たちと手話でたくさん話してくれてありがとうございました。
- ③ 次の引っ越しは千葉市へ。転入届のついでに福祉課をのぞいたらとっても元気な手話通訳さんに声をかけていただきました。その後、自分も通訳になり先輩には今もお世話になっています。

たくさんのお出会いに感謝し、これからの出会いを楽しみにしたいと思います。

手話・通訳者としての学び、活動を続ける私の背中を常に【一押し】してくれているのは、やっぱり全通研です。悔しさや怒り、感動や感謝を共有しあえる先輩、仲間の存在はこの28年、いつも私を支えてくれました。

子どもたちの部活応援最優先生活も終わり、徳島、鹿児島、京都とサマーフォーラムへの参加復活。ろうあ者大会も和歌山、岩手と参加しました。(来年のサマーフォーラムは静岡、ろうあ者大会は富山です。)

行きも帰りも『居酒屋新幹線開店』で、車窓の風景と共に非日常のゆったり時間を味わい、現地ではミニ観光も。御朱印もずいぶんいただきました。

サマーフォーラムでは毎回「人権」の講座に参加。あらゆる角度(戦争や同和地区、法律や刑事事件、環境や性)、様々な視点から人権についてのお話を聞くことができます。ともすれば気付かないふりをしてしまう、鈍ってしまいやすい自分の人権意識を高め、再確認できる大事な機会になっています。

そして何より楽しいのは、新しい出会いやご縁、今年は20数年ぶりの嬉しい再会もありました。これからも出会いに恥じない学びと活動を続けられるよう、背中を押してもらい、そして私も仲間の背中を押せるように成長していきたいです。

地域班通信

成田班：最近は暑くて外に出かける気にもなりませんね。先日、納涼会に参加しました。なかなか会えない人に久々に会ったり、話したりととても充実した時間を過ごしました！ みなさんもまだ暑い日が続きますが身体を休めて、涼しい日をお過ごしください。成田のうなぎは美味しいので遊びに来てください！

白井班：家にはレモンの木があります。今年はたくさん実がついたので収穫の時期が楽しみでした。しかし猛暑や水不足からかキンカンぐらいの大きさに育った頃、ぽとぽと落ちてしまいました。全滅だと諦めていたら奇跡的に一つ残っていたのです！「このまま落ちないで」と毎日見守っています。

習志野班：夏の風物詩といえば花火大会。先日は隅田川や葛飾で開催されました。近隣住民の方々にとっては迷惑千万。勝手に自宅敷地内に侵入・最寄駅から会場までの混雑・終了後のゴミの山。近畿圏では大阪万博に警備員が集中。その影響で中止や延期になる所も。多くの方々の協力が有ったの花火大会。感謝しつつ楽しみたいものです。

船橋班：娘が大学で幼児教育を学ぶようになって、昔一緒に読んだ絵本を引っ張り出してきました。「読み聞かせの授業で使うね」と落書きとシミだらけの絵本を持っていく娘。また日の目を見ることになって古絵本も嬉しいことでしょう。以前、手話での読み聞かせを見たことがあります。手と表情で語られる物語は絵本の世界をより鮮やかに表現していました。手話は言語。絵本を読む声も手話も想像力と創造力を育む大切な言葉なんですよ。（M）

富里班：今日行く（教育）場所がある。今日用（教養）事がある。まだ70歳と思うのか、もう70歳と思うのか。まだまだ人生は長い、楽しんで生きたい。趣味、友達と旅行、手話サークルやりたいことたくさんある毎日です。（2K）

松戸班：我が家の朝顔たち。雨戸を開けると鮮やかに目に飛び込んできて、「今日も頑張ろう」という気持ちになる。数年続けている緑のカーテン。うすむらさき、桃色の斑入りの大輪、水色の大輪、新しい品種の団十郎も加わり、朝の気分を躍らせてくれます。更にもうすぐ咲く、ヨルガオも楽しみ。数年前に他界されたろう夫婦から頂いた種を毎年蒔いて、帰宅を待つように真っ白に咲く花、疲れも癒されます。（MK）



流山班：ちょっと遠いけど久しぶりのソロドライブで「しろろが語る（番外編）」に参加。ご経歴には届かないものの似たような道で、障害者の就労支援関係、CW、相談支援専門員、障害児療育などなどで追いかけている私にとって、もっと深掘りしたい気持ちもありましたが、まずはお会いしてお話しできたことに大満足して帰路につきました。(emiko)

かずさ班：7月中旬孫の最後の試合となる高校野球千葉県大会を観戦しました。猛暑の中、両チームの応援席は満員。私も「うちわ」を貰い声を張り上げ応援しましたが相手はシード校。力では敵いません。1度はコールド負けを阻止。その頑張りは両応援団に感動を与え、負けはしましたが清々しさが残りました。孫チームに拍手です。(Y)

鎌ヶ谷班：私の机の周りは書類で埋め尽くされている。手話の関係書類が一番多いのだがそれに続いて防災関係の書類だ。最近の異常気象の関連で次々と新たな課題が見えてくるので仕方がない。断捨離をして何とか周りをスッキリさせたいと思っているがなかなかできないでいる。悩ましい限りだ。(MW)

わかしお班：毎年、日本の何処かで高温記録が更新され、大好きだった夏が敬遠する季節になってしまったことが、とてもせつないです。風鈴を眺め、うちわを扇ぎ風情を楽しむなんて・・・もう出来なくなるのでしょうか？ 透き通る水中を海亀が優雅に泳ぐ姿や、清流の映像を観て「涼」に癒しを求めている今日この頃です。(YK)

海匝地域班：今年の8月12日は、日航機墜落事故から40年です。当時は、児童の入所施設で勤務していて、お盆の帰省ができなかった子どもたちと同僚と一緒にいました。8月は原爆投下、日航機事故、終戦と、辛い出来事が続きます。「火垂るの墓」の清太や節子のことを想いながら、今の安定が、未来まで続きますように。

市川班：この季節スーパーに行くとスイカ、メロン、桃、シャインマスカット、巨峰などさまざまなフルーツが店頭をにぎわせていますね。ところで「ありのみ」って知っていますか？「ありのみ」って小さな蟻ん子のことだと思っていたのですが、つい最近「ありのみ」って梨の事なんですって。あたりめやあたり鉢のように、梨＝「無し」を嫌って「ありのみ」だそうです。これから市川の梨も最盛期を迎えます。ぜひ市川の梨をご賞味ください。娘曰く道の駅の梨（ありのみ）パフェが美味しいそうです。道の駅いちかわに寄られた際はぜひお試しあれ！

市原班：暑い時でも火を使わずにできる簡単おつまみ。スライスチーズをクッキングシートにのせて、ラップなしで600ワットのレンジで2分加熱。あっという間にチーズせんべいの出来上がり。

六つ星班：先日、認知症 VR 講座を受講しました。VR（バーチャルリアティー）を使い、認知症の方の見えるリアルな映像の世界の中に入り、不安な気持ちを実感することが出来る内容でした。認知症になっても、急に何も出来なくなるわけではないので、周りの人の理解があれば社会で共に暮らし続けることが出来ると思いました。(SN)

八千代班：初めて地区講座の開催を担当した。ひとつ行事をやるのってタイヘンなんだとしみじみ思った。来年開催のつもりでのんびり構えていたら、急遽8月実施に。そこから突っ走っている。忙しいのではない、気忙しい。講師依頼・会場確保・書類作成・通訳依頼・打合せ・こまごました担当決め etc...。チラシの作成や、申し込み受付はお任せできたから何とかやれそうな気がしている。この号が出る頃には、きっと脱力している。



千葉市「手話言語コミュニケーション条例」が制定されました

2025年6月25日、千葉市議会にて『千葉市手話言語の普及及び障害者のコミュニケーション手段の利用を促進する条例』が可決・成立しました。当日、議会傍聴席には千葉市三団体の仲間が集まり、歴代の役員、諸先輩方、仲間たちの活動の成果が条例成立に結び付いた瞬間に立ち会うことができました。

この条例は手話言語条例とコミュニケーション条例の2本柱で構成されています。特徴は、前文冒頭に手話言語の歴史、手話言語を獲得し使用する権利の保障、普及促進、継承の必要性について述べられていること、また本文において手話言語が音声言語とは異なることを明記していることです。これは千葉市聴覚障害者協会会長がメンバーとなっている障害者施策推進協議会での粘り強い発言や、今年4月から1か月間のパブリックコメントに147件の意見が集まった結果と思います。

国では『手話施策推進法』が時を同じく施行されました。手話言語を取り巻く社会が大きく変わりつつある今、千葉市の聞こえない人、またその他の障害を持つ人、持たない人がお互いの文化を理解しあい、皆が必要な情報を正しく得て、自分の意見を発信できる社会となるよう、これからも協会や関係団体と協力し、活動をしていきます。

(千葉市班長 山口 美香)



手話の日 & 手話言語の国際デー2025 記念イベント

～東京2025デフリンピックを成功させよう！～

日時：9月23日（火・祝） 式典 17:00-19:00 展示 13:00-18:00

会場：ボッシュホール（神奈川県横浜市都筑区中川中央1丁目9番33号）

内容：主催者・来賓挨拶

基調講演（障害者権利条約、手話施策推進法について）

アトラクション（手話パフォーマンス）など 詳しくはろうあ連盟ホームページ

役員短報

日時：8月2日（土） 9:00-12:00

会場：オンライン

参加者：14人

<主な議題>

○三役

- ・必携の修正について
9月の役員会までに提案。その後各部各班で見直し修正しまとめる。
- ・研修会開催時の天候・災害に伴う決定判断の見極めや参加者への連絡方法を検討。

○広報部

- ・9月号掲載記事の確認。

○組織部

- ・会員拡大 315人（7月31日現在）
（目標比▲35人）
取り組みとして地域班に所属していない会員への加入。地域班結成に向けた働きかけについて検討。

<部・班の報告>

○三役から

- ・9月23日（火/祝）キャラバンイベント会場イオンモール船橋 ひかりの広場 主催：全日ろう連盟。
- ・10月19日（日）～26日（日）キャラバンカー・イベントについて 茨城県から我孫子市に入り引継ぎ式をする予定。

○N-Action ちば

- ・9月27日（土）茶話会の開催。
交流と手話を用いたミニゲーム
一般・手話サークルにも呼びかける。

○健康対策班

- ・8月2日（土）研修会の開催。
テーマ「倉知延章氏から通訳と健康について学ぶ」を開催。

○ろう教育班

7月23日（水）学習会をオンラインで開催。参加者4人。

○医療班

- ・1泊研修報告 押しかけ講座の実施
詳細はHPを参照。

○労働班

- ・7月27日（日）学習会をオンラインで実施。5人参加。
- ・9月20日（土）労働フォーラムを土浦市で開催する。

○事務局

- ・サマーフォーラムにて販売促進（海苔の佃煮、缶バッチ、落花生まめ、レジキーホルダー）。
同場所にて後援会と一緒にネックストラップの販売をする。

○後援会

- ・11月23日（日）秋穫祭出店依頼有り。
イベント内容は協議中。

○関東手話通訳問題研究会

- ・7月27日（日）支部代表者連絡会議を開催した。
- ・10月4日（土）代議員会ブロック会議を対面で開催する（神奈川）。

今後の予定

- 9月7日（土） 地域班会議・役員会
- 9月13日（土） 健康対策班学習会
- 9月20日（土） 組織部会議
- 9月21日（日） 労働班学習会
- 9月23日（火・祝） 広報部会議
キャラバンイベント
手話の日
手話言語の国際デー
- 9月26日（金） サポーターズ印刷日
- 9月28日（日） TMG班学習会
医療班学習会
関東通研代表者連絡会議
手話通訳士実技試験

お知らせ

○ちば通研ホームページにアクセス
アドレスは以下のとおりです。

<http://syuwa-chiba.la.coocan.jp>

QRコードでホームページに
アクセスできます。

会員専用ページは
パスワードが必要です。

○ちば通研へのお問い合わせ
ちば通研への連絡は下記の

E-Mail: syuwa@nifty.com

○原稿募集

原稿掲載にあたり、150字程度でお名前は本名
もしくはニックネームを明記。

次号の原稿締切日は9月15日(月)です。

E-Mail: c-koho@c2ken.sakura.ne.jp

FAX: 043-247-1201(早朝・深夜は不可)



会費の納入のお願い

2025年度の会費納入をお願いしています。

会費は振込にてお願いいたします。振込先は以下の
とおりです。なお、申し訳ありませんが振込手数料は
ご負担ください。複数人まとめての納入は、全員の名
前をご記入ください。

○年会費

会費 10,000円

読者会員 6,500円(聴覚障害者のみ)

○郵便振込先

口座番号: 00120-4-708239

加入者名: 千葉県手話通訳問題研究会

※ゆうちょダイレクトで振込の場合は、月5回まで
無料です。

けいわん 110番

<医療的な相談窓口>

滋賀医科大学社会医学講座(衛生学)

TEL: 077-548-2187

FAX: 077-548-2189

<仲間を守る取組みに関する相談窓口>

FAX: 057-451-3281

*何かありましたら、いつでも、ちば通研健
康対策班に、ご相談ください。

FAX: 043-247-1201

○安否確認の報告はこちらへ

ちば通研では、2014年度から安否確認訓練
をしています。最近、災害はいつ起きてもお
かしくない状況です。そのため、会員の安否確
認をよりスムーズにするため、専用のフォーム
を開設しました。

災害の時は、自分から

アクセスして状況を

ちば通研に報告してください。

<https://forms.office.com/r/5bav1TCt53>



あ と が き

最近路線バスで女性の運転手を見かける
ことが多くなり、私が利用しているバスの
女性運転手は恰幅が良くどっしりとして頼
もしさを感じています。ところが今日は一
転しておかっぱ頭の小柄な運転手でした。
車内放送も丁寧でバックミラーから見ると、
とても楽しそうにさっそうと運転して
いました。暑い夏の日でしたが、とて
もさわやかな気持ちになりました。(IT)

「今日は何の日?」と検索すると、毎日の
ように「〇〇の日」があることがわかりま
す。一般社団法人の日本記念日協会が認定
しているそうです。9月23日の記念日は現
在16件。しかし、法律で定めた記念日など
はわざわざ登録申請しないので、今年6月
に制定された「手話の日」は出てきません。

まずは自分の周囲から「9月23日は手話
の日」を普及させていこうと思います。(K)